一 般 質 問 発 言 通 告 表

向日市議会 令和元年第４回定例会

令和元年１２月５日

質問順	会派名 氏名	質問事項（要旨）
1	令和自民クラブ 永井照人	1　災害対策について
2	公明党議員団 長尾美矢子	1　ぐるっとむこうバスについて 2　防災対策について 3　市民からの要望について 4　ワクチン接種について
3	ＭＵＫＯクラブ 和島一行	1　公園の管理と意義ある公園を 2　不法投棄について
4	令和新政クラブ 小野哲	1　サラトガ市との姉妹都市交流について 2　本市の今後のまちづくりについて 3　Edtech（エドテック）について
5	日本共産党議員団 山田千枝子	1　ごみ減量対策及び指定袋の有料化をやめる事について 2　市職員の諸事件及び超過勤務問題など職員の安全と健康に寄り添い働きがいのある向日市に 3　「全国首長９条の会」に参加し、韓国などとの友好関係を保つことについても問う 4　観光交流センター及び地域の問題について
6	杉谷伸夫	1　毎議会初日に行う市長報告は、公開の本会議で行って頂きたい。 2　西向日の桜並木の景観は、どうすれば守れるか？ 3　本市の生活保護行政の改革について
7	公明党議員団 福田正人	1　高齢者への住宅支援について 2　通学路の安全対策について
8	日本共産党議員団 常盤ゆかり	1　教員への変形労働制適用について 2　向日が丘支援学校の改築基本構想について 3　「大学入試改革」について 4　市役所東向日別館の駐輪対策について
9	村田光隆	1　北朝鮮による日本人拉致を非難する声明を 2　児童虐待に対する情報共有の強化を求める 3　荒川医院前交差点の防犯カメラと信号機設置の要望について

１０	日本共産党議員団 北　林　智　子	１　子どもを取り巻く環境及び保育行政等について ２　子どもの虐待について ３　留守家庭児童会について
１１	飛鳥井　佳　子	１　第三保育所跡地を東日本大震災の被災者の母子の「幼稚園留学」の拠点にすることについて ２　災害時の安心安全な避難所のあり方について ３　女性差別を解消するため、男性への女性センター活用を広めることについて ４　いじめによる重大事態を防ぐため、ＳＤＧｓの理念を広げることについて ５　向日市独自の物産品で観光振興を進めることについて ６　市民の足として早や成果を上げているコミュニティバスについて
１２	日本共産党議員団 丹　野　直　次	１　原発再稼働を直ちに中止すること ２　いのちを最優先にした防災対策について ３　都市農業の発展と改正生産緑地法について
１３	日本共産党議員団 米　重　健　男	１　消費税について ２　大型開発について ３　寺戸森本幹線１号の整備について ４　地域の課題について
１４	日本共産党議員団 佐　藤　新　一	１　救護施設みなと寮建設について ２　コミュニティバスについて ３　向日市の水道について

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	永井照人	所属会派名	令和自民クラブ

表題	質問事項（質問の要旨）
１．災害対策について	向日市地域防災計画の詳細を聞く 1. 交通施設の防災対策　主要道路の整備 2. 交通施設の防災対策　生活道路の整備 3. 要配慮者対策計画 4. 救急・救助・医療救護体制 5. 避難計画 6. 原子力災害対策 7. 災害応急工事の協力協定 8. 議場の災害対策

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	長尾美矢子	所属会派名	公明党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
1．ぐるっとむこうバスについて	① バス停について ② 長岡京市へのアクセスについて ③ 利用促進の取り組みについて
2．防災対策について	① 災害時等障がい者支援バンダナについて ② 簡易テント型パーテーションについて ③ ペットの同行避難について
3．市民からの要望について	① プレミアム商品券について 申請状況、利用店舗の周知について ② コミセンのトイレについて
4．ワクチン接種について	① ロタウィルスワクチンについて ② 高齢者肺炎球菌ワクチンについて

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	和島　一行	所属会派名	MUKOU クラブ

表題	質問事項（質問の要旨）
１．公園の管理と意義ある公園を	公園の管理団体の呼びかけの拡大、利用頻度の少ない公園の現状の把握と方針を伺う。 公園管理を自治会にお願いすることもひとつだが、現在向日市で活動している地域のスポーツ団体、文化団体はたくさんある。特に子どものスポーツ団体に対しての公園管理を実施していただくことで、自分たちが遊ぶ公園を自分たちがきれいにする。そうすれば当然きれいに使用するはずである。 これからの時代は市民が使うだけの公園ではなく、市民が創るそして管理する公園にシフトチェンジしていくことを目指していかなければならない。そういう観点から公園管理は市民との協働を拡大する必要がある。如何か。

傍聴者　配布資料

２．不法投棄について	事　項（質問・提案等） 資源ごみ回収時の集積場所の不法投棄について問う ①資源ごみ回収時に粗大ごみの不法投棄を見かけますが、これらは明るい真夜中の人目につかない時間を狙って軽トラや車で持ってくる人がいます。防犯カメラは上からなので下を向いていたりフード等を被っていたら人物を特定できない。市としてはもっと厳しくしていく姿勢をとってもらいたい。そうでないと これからどう対処していくのかを伺う。 ②どの地区が一番多く粗大ごみが出ているか把握しているか。 ③防犯カメラにより特定された人物はいますか。 そこからのアプローチの仕方はどういう形でなされているのか。 ④これらの不法投棄の処理代は凡そどれぐらいのものになるのかを訊く。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・~~分割~~）

質問者氏名	小野　哲	所属会派名	令和　新政クラブ

表題	質問事項（質問の要旨）
１．サラトガ市との姉妹都市交流について	① 近年の公費支出と項目について ② 今回の訪問後の市長の所感について ③ 今後のサラトガ市との姉妹都市交流について、特にウェストヴァレー大学とのかかわりを検討することについて
２．本市の今後のまちづくりについて	① 第３次都市計画マスタープランに関して ＊策定スケジュール、主な改定内容について ② 森本東部土地区画整理事業の周辺地区への事業効果に関して ＊東南部地域の高度土地利用及び通過車両制御のための道路整備について ＊開設される JR 向日町駅東口へのアクセスのための自動運転バスの取組みについて
３．Edtech（エドテック）について	① 本市における教育現場への ICT 利用の現状について ② 新学習指導要領における小学校の英語の教科化とプログラミング教育の対応について ③ Edtech(エドテック)に対する認識について ＊先進事例の検討 ＊英語の発音習得への活用

傍聴者　配布資料

傍聴者　配付資料

一般質問通告書　総括質問

質問者氏名	山田千枝子	所属会派名	日本共産党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１、ごみ減量対策及び指定袋の有料化をやめることについて	「向日市ふるさと創生計画」のごみ減量目標はひとり一日あたりの排出量を５１０ｇと定めている。平成１１年度の約７３０ｇが平成２９年度には５24ｇとなり２００ｇも減少、平成３０年度は地震や台風のがれきにより増加し、５３１ｇとなった。しかし目標まであと２０ｇ減らせば目標達成する。①約２０ｇの減量対策は市の努力でできると思うがどうか。②市役所や鶏冠井コミセン、上植野コミセン、北部防災センターなど終日回収拠点の減量効果および来年度の終日改修箇所の予定はどうか③古紙や雑紙回収で報奨金１キロ５円出している宇治市はリサイクル率もアップ、本市でもどうか④京都市のように自治会単位の説明会を開いて頂きたい⑤有料の指定袋の導入はやめよ
２、市職員の諸事件及び超過勤務など職員の安全と健康に寄り添い働きがいのある向日市に	９月、また市職員に関わる問題が発生し、若い職員が辞職された。なぜこのような事が相次ぐのか。心が痛む職員が増えているのではないか。①検証委員会がつくられたが、内容を随時議会や市民に報告を②不当要求へのマニュアルや条例策定について③９月の懲戒処分職員さんも１９万円の管理がされていなかったとのこと。人員不足による一人任せでの管理不十分ではないか。今後の対策はどうしているのか④月１００時間を超える職場には増員対策を。⑤公務の市役所に働かれた職員が、市民の役に立つ職員となってやりがいをもつて働けるよう市長や組織が職員に寄り添うことについて

3、「全国首長９条の会」に参加し、韓国などとの友好関係を保つ事について	１１月２４日、ローマ教皇フランシスコが長崎・広島を訪問し演説。核兵器廃絶を求め戦争はもういらないと訴えられ、多くの人々の心に響いたのではないか。市長は「平和市長会」で向日市の取り組みを発言報告されたとのこと。 そこで１１月１７日、全国の現職、元職の自治体首長らに「全国首長９条の会」が結成されました。武村元滋賀県知事、松下武蔵野市長、中川宝塚市長、平岡元広島市長ら１３０人を超える方が賛同呼びかけ人に名を連ねています。 ①市長が「全国首長９条の会」に参加することについてどうか。 ②日本の植民地支配の事実に向き合う検証を行うことが必要だと考える。市長の見解と韓国との友好関係を存続させることについてどうか。
４、観光交流センター及び地域の問題について	**JR** 向日町駅北側の観光交流センターについては地域住民のみならず多くの市民からこのセンターの必要性など納得を得られていない人が多くおられる。 ①今後のスケジュールと運営及び１年間の利用予定人数についてどうか。 ②この間、説明が行われ地域住民ではわずか１６軒しか説明ができていなかったが、説明会及び訪問での意見について参考にする必要があると思う。説明会及び地域での意見要望などがでたと以前に答弁されていました。ではこの意見要望などまとめた文書を見せて頂けないか。 議会に提出して頂きたいがどうか。 ③ 寺田西公園の完成時は華々しくお披露目をされた。それがわずか３年も経たないのに劣化している。竹の維持管理には相当な費用が必要である。寺田西公園の使用禁止のベンチをいつまで放置するのか。この改修対策計画はできたのか。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（~~総括質問~~・分割質問）

質問者氏名	杉谷　伸夫	所属会派名	会派に属さない議員

表題	質問事項（質問の要旨）
１．毎議会初日に行う市長報告は、公開の本会議で行って頂きたい	（１）以前より、重要な事務事業について「市長報告」を行うことを求めていましたが、本定例会初日の本会議後の議員全員協議会で、始めておこなわれました。しかし、本会議で市民のみなさまに向かって報告するのでなく、市民のみなさまが聞くことのできない議員全員協議会を選ばれたのは、どうしてか？ （２）先日の議員全員協議会で市長報告されたのは、４つの開発関連事業ですが、今後は開発事業に限らず本市の事務事業全般にわたって、重要なものについてはすみやかに報告頂けると考えてよいか。
２．西向日の桜並木の景観は、どうすれば守れるか？	西向日の桜並木は、地域の落ち着いた家並みと相まって、向日市が誇るべきすばらしい景観の一つです。しかし最近桜の樹が次々伐採され、桜並木の景観が果たして守れるのか地域住民に不安が広がっています。本市の考えを問う。 （１）桜並木の景観を守るためには、行政の力が必要です。桜並木の街路に面する家屋の建て替え等にともない、桜が次々に伐採され桜並木の景観が崩れていくような事態は止めなければならないという意思はお有りか。 　また、そのための実効性のある手立てについて、どうお考えか？ （２）桜並木の保全には、桜の老木の計画的な植え替えが必要ですが、財政面も含め、向日市としてはその計画・見通しはあるか？ （３）向日市まちづくり条例では、地域の景観の変更に関わる行為に対して、地域住民の意見が反映されるしくみが制度的に保障されていません。どうお考えか。 （４）地域の景観保全の努力に実効性を持たせるためには、景観条例の制定と、それに基づく景観計画の策定が必要ではないか。

３．本市の生活保護行政の改革について	今年６月に向日市の生活保護ケースワーカーが関与した事件に関して、検証作業の途中ではありますが、本市の生活保護行政の点検と今後の改革への取り組みに資するために、意見を述べるとともに本市の考えを聞く。 （１）事件の徹底した検証で、生活保護行政が変わることを市民に示してほしい ①徹底した検証が必要です。そのためには、トップの姿勢が最も重要です。市長の思いを聞かせていただきたい。 ②検証委員会の第三者性への疑問も出されていますが、どう考えますか。 （２）向日市の生活保護行政の課題について ①生活保護を担う部署の「めざす理念・目標」は何か？ ②生活保護に関わる職員の専門性の向上について 生活保護ケースワーカーの経験年数が短く、また経験豊富な職員がいないため、経験が蓄積されず、専門性が高まらないとの指摘についての認識は？ 福祉職採用も検討してはどうか。 ③職員の研修の機会がしっかり保障されているか？ ④職場内での情報連携と組織的対応の強化について、生活保護業務に限らず、組織の総点検を行うべきではないか。 ⑤利用者の立場にたった運用になっているか？ 生活保護利用者の過半数は女性なのに、女性のケースワーカーは一人だけ。２年前まではゼロでした。 ホームページに、生活保護に関する情報は、ほんのわずかしか掲載されていません。せめて「保護のしおり」やリーフレット、そしてどんな支援が受けられるのかや、手続きの簡単な説明など、基本的な情報を誰でも見ることができるようホームページに掲載していただきたい。 ⑥不当要求などに対する対応について (1) 本事件のケースでは警察との連携は行っていたか。 (2) 不当要求に対する対処マニュアルの作成の現状は？ ⑦生活保護に対する市民の理解促進にむけた意識的な啓発と情報発信を求める。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書 総括質問

質問者氏名	福田　正人	所属会派名	公明党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
1. 高齢者への住宅支援について	市営住宅の連帯保証人について ① 民法が改正され一部を除き来年４月に施行される。 その中の保証契約いついての説明を求める。 ② 市営住宅に入居を希望される場合、条例によって連帯保証人を立てることが定められているが、その連帯保証人の資格と責務について説明を求める。 ③ 国土交通省は平成３０年３月付けで「公営住宅管理標準条例案」を示し、各自治体に通知し、公営住宅の入居の条件に連帯保証人を前提としなことを提唱している。そこで本市の考えを聞く。 ④ 本市においても連帯保証人に関する規定を削除し他の制度を採り入れ、住宅管理条例の改正を求めるが如何か。 民間住宅での居住支援について ① 一人暮らしの高齢者に対し、本市は家賃の一部助成を行っているが、一方では保証人が立てられない方の問題がある。その対応と対策について伺う。 ② 空き家の有効活用として公営住宅化し市営住宅同等の賃料で、同じく民間集合住宅も貸し出しては如何か。 ③ 府営向日台団地の建て替え計画進捗状況について説明を求める。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書

質問者氏名	福田　正人	所属会派名	公明党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
2.　通学路の安全対策について	①　本市における過去３年間の小中学校登下校時の交通事故の件数と主な原因を伺う。 ②　第2小学校校区においては、曲がりくねった狭い道路が多く、車の抜け道になっていたり、脇道から車が進入してくる危険個所もあり登下校中の子供たちの横をすれすれで通り抜けていく車が見られる。そうした中で保護者の方々から心配の声を聞く。対策について現状と今後の計画を聞く。 ③　本市では教育委員会において安全対策協議会を設置し検討が進められているが、今後各校区単位での通学安全対策を協議する校区別安全対策協議会を設定すべきと考えるが如何か。 ④　子供たちが自分の身は自分で守る観点から、自宅を中心に道路を書き、通学路・よく行く場所などを記入し、例えば事故危険個所は赤、安全に歩ける道路は青、犯罪危険個所は黄色で色分けするなど、特に低学年の安全の確保のために、「安全マップ」を作成しては如何か。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	常盤ゆかり	所属会派名	日本共産党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１．教員への変形労働制適用について	安倍内閣は公立学校の教員に１年単位の変形労働時間制（変形制）を適用出来るようにする「公立学校教職員給与特別措置法（給特法）改正案」を提出。教員や保護者から「法案は長時間労働を増加・固定化させるものであり、徹底審議、廃案を」と強く求めている。 １．教員を含む地方公務員法（地公法）で１年単位の変形制は適応除外になっている。給特法の読み替えは労基法の改悪につながるがどうか。 ２．文科省は制度の細部はすべて法案成立後に策定するとしている。自治体が条例で決めるとされていることから実際には自治体に丸投げになり、教育委員会、校長の負担となる。止めるべきだと考えるがどうか。 ３．教員の長時間労働解消に必要なのは、教員増と業務の削減である。本市でも各校において非正規教員（講師）の比重が多い。実態を聞く。
２．向日が丘支援学校の改築基本構想について	向日が丘支援学校は１９６７年に京都で初めての肢体不自由の特別支援学校として開校した。築５０年が経過し「向日が丘支援学校改築基本構想検討会議」が開かれ、今年度内に「改築基本構想」最終案が出される。建て替え後も寄宿舎の存続を求めて、保護者が要望署名に取り組まれ１万８千人に達しており、知事、教育長、特別支援教育課へ要請行動をされている。 １．新しく建てかえされる向日が丘支援学校へも寄宿舎の存続、充実・発展をされるよう京都府に対し求めていただきたい。 ２．向日が丘支援学校の校舎改築の早期着工と、建て替え計画については障がい当事者・保護者・教職員はじめ市民の声を聞いて進めていただくこと。

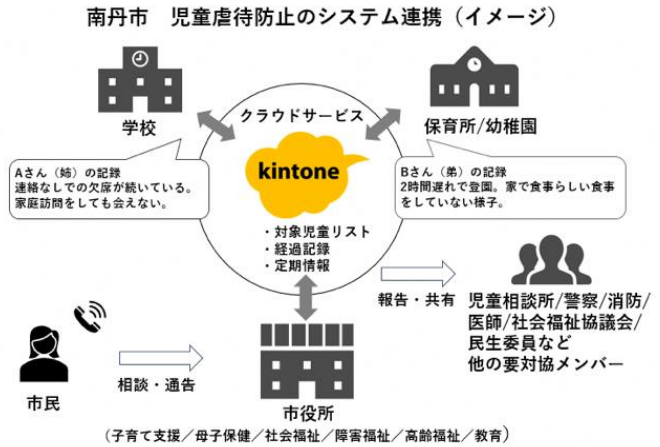
傍聴者　配布資料

３．「大学入試改革」について	萩生田文部科学大臣の「身の丈」発言で、民間検定試験への不信感が広がった。以下、見解を問う。 １．今回の萩生田文部科学大臣の発言について ２．大学入試の英語民間検定試験の導入について ３．大学入学共通テストの国語・数学の「記述式」について ４．英語民間検定試験の導入および「記述式」の導入を中止し、「教育の機会均等」が保障されない大学入試改革は抜本的に見直すこと。
４．市役所東向日別館の駐輪対策について	イオンフードスタイルと市役所東向日別館利用の自転車があふれ、出入り口をふさいでいたり、点字ブロックの上に置かれ、車椅子やバギー等利用、配慮が必要なかたの通行を妨げている。早急な対策を取られるよう求めてきている。 駐輪ラックの下段ががふさがっている場合、上段にあげずにラック横に置かれていたり、店舗西側出入り口前にも置かれ、歩道をふさいでいる。 １．前議会でも尋ねたイオンフードスタイルと管理組合、タイムズ、向日市での協議は具体的にどのような解決策をとられているか。 ２．１１月５日から駐輪１２時間以上１５０円となった。状況を聞く。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括質問）

質問者氏名	村田光隆	所属会派名	会派に属さない議員

表題	質問事項（質問の要旨）
1．北朝鮮による日本人拉致を非難する声明を	毎年 12 月 10 日から 16 日は「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」である。 しかしながら、拉致問題解決への進展はなく、道筋すら立っていない状況である。 拉致問題で一番危惧されるのは、我々日本人が北朝鮮の非道な行いを忘れ、風化させてしまうことだ。 向日市でも北朝鮮に対して、「拉致は決して許さない、必ず取り戻す！」という強い決意を表していただきたい。
2．児童虐待に対する情報共有の強化を求める	全国で相次いでいる虐待死に対して、政府は児童福祉司を増やすなど児童相談所の体制強化に乗り出している。 また、虐待防止に向けて今まで以上に関係機関の連携が必要である。 大阪府では全国に先駆けて、児童相談所に寄せられた情報を、軽微なものも含めて全件大阪府警に情報提供すると発表した。 また今年の 2 月には、京都市が児相と区役所及び支所と虐待情報を共有するシステムを導入すると発表している。 さらに南丹市では、要保護児童対策地域協議会が 7 月からキントーンという情報共有システムを導入している。  サイボウズ株式会社 HP より

<table>
<tr>
<td></td>
<td>1.向日市では現在、関係機関と情報を共有できるシステムはないが、他の自治体を参考にするべきではないか。
2.軽微な事案も含めて、全件警察や児相、学校等関係機関と情報の共有が必要ではないのか。
3.児童虐待に関する、新規の相談及び通告は年々増加している。
本市管轄の児童相談所は、東山区にある家庭支援総合センターで、遠方にある。
向日市家庭児童相談室は3名体制であるが、緊急を要する事案が発生した場合、家庭児童相談室としてどのように対処するのか、関係機関との連携を伺う。

大阪市では、児童虐待の内容や深刻度に応じてリスクを5段階に分類する仕組みを導入すると発表した。
大阪市が導入する虐待のリスク評価
<table>
<tr><th>分　類</th><th>身体的虐待の具体例</th></tr>
<tr><td>最重度（A）
生命の危険あり</td><td>頭部外傷、踏みつけ、窒息の危険</td></tr>
<tr><td>重度（B）
重大な影響あり</td><td>骨折、顔面のひどい外傷</td></tr>
<tr><td>中度（C）
長期的にみると影響あり</td><td>半年以内に２回以上のあざや傷</td></tr>
<tr><td>軽度（D）
一定の制御がみられる</td><td>傷が残らない程度の暴力</td></tr>
<tr><td>危惧（E）
虐待ないが支援が必要</td><td>傷はないが、発生の可能性が高い</td></tr>
</table>
日本経済新聞電子版より
4.本市では、段階に分けたチェックシートはないが、軽微な事案を重度化させないために、取り入れるべきではないのか。</td>
</tr>
<tr>
<td>3. 荒川医院前交差点の防犯カメラと信号機設置の要望について</td>
<td>今年の 10 月 15 日寺戸森本幹線 1 号と 2 号が交わる交差点（荒川医院前）で、ひき逃げ事件が発生した。

向日町警察署に確認したところ、周辺には防犯カメラはなく、捜査は難航しているとのことであった。
防犯カメラは犯罪の抑止に加え、起きてしまった事件や事故を解決するために必要不可欠なものである。
この交差点に防犯カメラが必要なのではないか？
また向日町警察署は信号機の必要はないとの見解だが、判断は間違っていないのか？</td>
</tr>
</table>

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	北林　智子	所属会派名	日本共産党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１．子どもを取り巻く環境及び保育行政等について	１，幼児教育・保育の無償化について 幼保無償化が始まり一ヶ月が過ぎた。無償化制度導入後の影響などについて伺う。 ①無償化に伴い３歳以上の子どもの標準時間保育（最大１１時間）の増加傾向はあるのかを伺う。 ②無償化になった家庭の保護者負担の逆転現象はあるのかを伺う。 ③特に私立保育園・認定こども園・幼稚園での無償化に伴い事務処理の負担が増える場合がある。向日市では把握されているのかを伺う。 ２．令和２年度向日市保育料徴収基準額について ①保育料徴収基準額の設定については、階層を大きく増やしたり保育行政に大きく関わる問題であり市民や議会に諮るようにすべきではなかったのかを伺う。 ３．待機児童解消と共にゆとりある豊かな保育実践について ①公立保育所を守り、充実させて頂き、さらに認可保育所を増やせないのかを伺う。 ②来年度の待機児童の解消の目処がついているのか伺う。 ４，保育士の処遇改善について ①アルバイト保育士、パート保育士の賃金アップや処遇改善の必要性について伺う。

	②正規保育士を増やすことについて伺う ③Ｈ３０年度の公立保育所の退職者数は６名、定年以外の退職理由について伺う。
２．子どもの虐待について	平成３０年度の虐待の把握件数は１６０件で５３件増えている。対応に苦慮する事案が発生した場合の対策や今後の課題などについて問う。 ①親が孤立せず、安心して子育てできる社会環境と虐待を未然に防ぐ子育て支援の更なる充実が必須ですが、今後、千葉市の事件の様な対応に苦慮する事案が発生した場合の対策や今後の課題などについて伺う。
３．留守家庭児童会について	留守家庭児童会の学童保育の質の向上、指導員の処遇改善などを問う。 ①第９次地方分権一括法で職員配置基準を区市町村が設定できるようになり参酌すべき基準にかえました。今の基準は必ず守り、指導員の処遇を改善されるのかを伺う。 ②正規指導員（常勤的働き方をする職員）を増やすことについて伺う。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括質問）

質問者氏名	飛鳥井佳子	所属会派名	会派に属さない議員

表題	質問事項（質問の要旨）
１． 第三保育所跡地を東日本大震災の被災者の母子の「幼稚園留学」の拠点にすることについて	「原発事故後の福島の母子を助ける「保養」（幼稚園留学）は 21 日間で子どもの体内から放射性物質を 50%以上排出できるので、ベラルーシでは国が 30 年間も『保養プロジェクト』にとりくんでいる。向日市でも、福島の母子を助ける場として NPO の方々と協力し、第三保育所跡地を活用してはどうか。」
２． 災害時の安心安全な避難所のあり方について	「完璧な間仕切り、トイレ、着替えする場所等、女性や子どもの安全対策を！」 「女性用防災セットの用意を！」 「パニックで暴徒と化し弱者が危険にならぬよう真剣な対策を！」 「災害時のゴミ処理計画　SDGs の達成を！」 「避難所からホームレスを排除しないように！」
３． 女性差別を解消するため、男性への女性センター活用を広めることについて	「あすもあができ、キャンドゥレディの会も旗揚げしたことを祝し、８点にわたり、最近の女性差別事件についての見解を問う。」 「男性にこそ、女性センターの活動に参画してほしいが、その方策、プランを問う」
４． いじめによる重大事態を防ぐため SDGs の理念を広げることについて	「いじめ事件による死亡や自殺が何百、何千件とおこっているが、SDGs の概念を培い、小動物を学校で飼育する、赤ちゃんとふれあう体験学習や、障がい者の方々との統合教育や多文化共生で外国の方々との交流授業やディベート教育などをしてほしいがどうか。」 「いじめの重大事態が発生した場合、市長に報告することが義務付けられているが、向日市では事例があっ

	たか。」
５． 向日市独自の物産品で観光振興を進めることについて	「向日市の五塚原古墳は、３世紀の最古のもので、邪馬台国の女王「卑弥呼伝説」の地として、新市役所から展望できるはり湖山の美しい風景の中にあるので、この文化財を活用し町おこしをし、グッズ等の研究開発をしてほしいがどうか。」
６． 市民の足として早や成果を上げているコミュニティバスについて	「回数券をつくってもらったらどうか。」 「市民まつりなど、特別なイベント時だけで良いので、土・日にも走ってはどうか。」

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	丹野　直次	所属会派名	日本共産党　　議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１．原発再稼働を直ちに中止すること（原発マネー問題から）	１、福井県の調査委員会の報告が報道されたものによると関電の会長はじめ社長などの実行役員はじめ出先の会社幹部との深い闇の関係性が明らかになった。　政府に忖度せずに全容を解明すべきです。３億2000万円もの「原発マネー問題」での市長の見解を伺います。 ２、関電は４０年を超える高浜発電所１，２号機の再稼働はしない事を求めるべきです。 ・検査が終わる来年５月に運転予定である、この際老朽化した原発を停止すべきです。いかがでしょうか。電気は足りているのに　これ以上の無理な運転をやめるべきです。 ・政府は自治体任せの避難計画不備の状態です。原発再稼働をすすめることは中止すべきです。 ・原子力災害時の円滑化モデル実証事業（内閣府）について ・電源立地地域対策交付金の目的と基準、交付金額について問う。
２．　いのちを最優先にした防災対策について	１，発生が予想されている南海トラフ巨大地震、日本海側大地震、直下型地震など大規模地震に対する、防災・減災の総合対策として向日市の広域的な対応は出来ているか。 ２，的確な情報伝達、弱者対策、備蓄資機材確保、消防救急のデジタル化、消防団員の確保と団活動への支援と改善等を。 ３、被災者生活再建支援法などの拡充等の見直しを国・府に求めるとともに、先進地に学び　向日市独自の災害時助成金の支給について応急修理を含む支援制度創設をすること。 ４、市内１３カ所の土砂災害警戒区域指定されている箇所への対策工事の計画はいつまでにつくられるのか。京都府・土木事務所との連携強化は。 ５、通信、電力事業者との災害、被害、復旧にむけた情報共有を向日市に引き寄せて、倒れない電柱の対策計画をつくる調査を行うことが喫緊の課題だ。そうした協議はされているのでしょうか。 ・電線の地中化は他に何kmあるのか。被害や道路パトロール、

	安全対策の状況は。 ６、台風１９号、被災県での河川決壊で一晩で甚大な被害に見舞われたが、向日市で水害等避難行動タイムラインの作成、桂川と小畑川の危険箇所、内水氾濫対策と市内のため池の総点検は出来ているか。 ７、避難場所の指定、避難所の環境改善など地域防災計画を実態のあったのもにすべき。公立学校、公民館、コミセン、避難指定されている公園などの公共施設、保育所・幼稚園、病院・介護施設の耐震診断と、補強を急ぐこと。災害を受けた場合など避難訓練の実施状況は。 ８，子どもへの防災教育について、原発・放射能被害など防災についての教育。危険なブロック塀の撤去で通学路の安全対策を。
３　都市農業の発展と改正生産緑地法について	1、３００平方メートル以上が５００未満であっても市の条例により対応できるとされている。小規模農地も残せる等条例制定で生産緑地に指定申請できる保全できるとされている。新しい条例の見通しについて。 ２、一団の農地要件の取り方が緩和され、物理的隣接だけでなく１街区にある農地合計で一団とみなす場合の影響は。 ３、建築規制の緩和でこれまでは農地は採算、集荷、貯蔵、作業施設（ビニールハウス、育苗や、選果等）でしたが追加が認められることになっています。例えば、加工施設、直売所、農家レストラン、（生産緑地内でとれた農産物使用）となるが高付加価値農業、多角経営が可能とされている。影響はどうか。 ４、新設される特定生産緑地制度についてこの制度に乗れる農地は１９９２年生産緑地に指定されて２０２２年に３０年の指定満期を迎える農地のみとされている。 又、指定申請の手続きは所有者の同意は利用関係者の同意などが必須とされている。準備状況について問う ５、生産緑地指定意向調査の予定は、説明会の状況（参加人数など）及び出された主な意見をお聞かせ下さい。 ----------

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	米重　健男	所属会派名	日本共産党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１．消費税について	本年 10 月に消費税が 8%から 10%へと増税された。国においてはこの増税が増大する社会保障費の財源とし、今年度より開始が決定された、幼保無償化の財源にも充てるとのことであった。 消費税の増税はこれまでも社会保障に使うと国は言っていた。現実には消費税の増税分により法人３税の減税を実施した形となっている。 今回の増税では、従来までの単純な税率変更とは違い、軽減税率の適用、インボイス制度の導入など複雑な制度構築となっている。軽減税率については我が党が国会でも指摘したように買う店、買い方、商品の利用方法などにより極めて複雑でわかりにくい制度となったため、すでにイートインコーナーの廃止や軽減前税率での一律の値段設定など、消費者の負担増加や混乱を招いているのが現実である。 また、同時に推進されているキャッシュレス化への移行は準備期間の短さや技術的な未熟さも重なり、個人情報の漏洩や極めて短期間でのサービス停止など大きな社会混乱を招いた。 インボイス制度の導入に至っては事業者が税率の変更への対応、キャッシュレス化への対応に追われ全く対応できていないとの声が上がっていると民間の商工団体からもお聞きしている。 我が党は、従来、消費税のような逆進性の強い税制は再分配の公平性の観点から見て、社会保障のような福祉財源とするべきではなく、廃止すべきである旨を主張してきた。しかしながら、このような現在の日本経済の危機的状況打開に一致団結して当たるべく、野党間における大同団結を目指すべく 5%への減税を現在提案しているところである。 １、消費税の５％への減税について ２、プレミアム商品券の申請状況について

２．大型開発について	大型開発は街の形や在り方を大きく変え、事業の実施には莫大な税金が必要となる。市民的な議論の呼びかけと共に速やかな情報公開を行い、計画の必要性や負担の配分について広く意見を取り入れるべきではないか。 １、各計画における情報公開の予定について ２、森本東部地区開発計画の防災計画について 　１、現状の雨水流出率と開発後の流出率の計算 　２、降雨量の基準 　３、雨水貯留槽管理の責任所在 　４、防災計画の行政責任 　５、寺戸川からの呑龍トンネルへの流量基準 　６、雨水貯留槽の汲み上げポンプの管理計画 　７、防災施設の管理計画 　８、日本電産株式会社との防災協定締結について
３．寺戸森本幹線１号の整備について	寺戸森本幹線１号は平成26年に拡幅整備がなされ向日町停車場線（深田川橋公園南側）から寺戸森本幹線２号へ新規築造が行われた。向日市都市計画道路見直しネットワーク構想案によれば寺戸森本幹線１号は伏見向日町線との交差点（前田地下道西側）までの延長約　700ｍの区間が代替路とされ事業の早期実現が図れるものとされていた。現在この計画は寺戸町と森本町の境界部分まで整備が実施されている。近年の交通量増加により路面の劣化が著しく、道路東側の住民にとっては歩道へのアクセスも困難な状態も見受けられる。残り区間の計画の実施と当面の路面の維持管理が必要である。 　１、残り区間の整備計画について 　２、路面の維持管理の進捗と予定について
４．地域の課題について	市道3005号線は市民にとっての重要な生活道路として、通学路にも指定されているものである。近年では全国的な大雨による側溝での事故等も発生しており安全対策や防災上の観点からも側溝の有蓋化が望まれている。また、市内各所で老朽化しつつある溝蓋は高齢者にとっては足や補助器具をとられての転倒の危険性もはらんでおり、早急な整備が求められるところである。 １、今後の対応について

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（分割）

質問者氏名	佐藤　新一	所属会派名	日本共産党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１．救護施設みなと寮建設について	京都市は向日市民への説明会を１月に開催して以来その後一度も開催していません。市民はその後どのようになっているのか心配しておられます。市民の不安を払拭するためにも早期に、安田市長は京都市に一般市民に説明会を開催するように働きかけるとともに、市長自ら向日市民の声を聴く場を持つべきと考えるが如何ですか。
２．コミュニティバスについて	１、運行開始２か月経過を踏まえての評価と今後どのようにお考えか。 ２、先進例の東京都武蔵野市の「ムーバス」について。 ３、「ぐるっとむこうバス」の乗客数がのびない理由をなんと捉えているのか。 ４、長岡京市のように公共交通に関する条例をつくるべきと考えますが如何ですか。
３．向日市の水道について	１、　京都府営水道ビジョンにより、向日市として何がどのように変わるのか。 ２、　府営水道事業経営審議会が 11 月 26 日に答申を出されました。今後向日市の水道料金が変わるかについて問う。 ３、　水道広域化についてメリットはないと議会で答弁されていましたが理由はなにか。デメリットはないのか。 ４、　水道法の改正により民間参入が緩和され、南部圏域として乙訓広域水道（３水系統合）による民営化の準備ではないか。 ５、　北陸新幹線建設が、向日市の水道に与える影響について問う。

傍聴者　配布資料